

## 「豊岡エコバレー・竹貫地場ソーラー」竣工式 ～環境都市「豊岡エコバレー」のシンボル～

再生可能エネルギーの地産地消を進めるとともに、エネルギー利用の多様化を促進するため、整備を進めていた大規模太陽光発電事業「豊岡エコバレー・竹貫地場ソーラー」が完成した。今回、第1期（平成27年11月26日に発電開始済）および第2期発電所を併せた竣工式を開催する。

### 1 竹貫地場ソーラー

#### (1) 特徴

ア 竹貫地場ソーラー（第1期・第2期発電所）は、豊岡市営の発電所として最大の規模で、最大出力1123.08Kw、年間予想発電量998,000kwhである。

イ 本市が初めて使用した、カネカソーラーテック㈱製の世界最高レベル<sup>※1</sup>の最新型パネルである。

※1 世界最高レベル  
結晶シリコン太陽電池の分野で主流となっている6インチ角のセルにおいて、世界最高水準の変換効率

#### (2) 発電所能力等

区 分	第1期発電所	第2期発電所	合 計
最大出力	823.2 Kw	299.88 Kw	1123.08 Kw
年間予想発電量	約 731,700 Kwh	約 266,300 Kwh	998,000 Kwh
(一般家庭相当分)	(約 237 軒分)	(約 86 軒分)	(約 323 軒分)
二酸化炭素削減効果	約 219 トン/年	約 79 トン/年	約 298 トン/年
使用パネル枚数	245W×3,360 枚	245W×1,224 枚	245W×4,584 枚
使用太陽電池	カネカ製ヘテロ接合型太陽電池モジュール		
設置方位と角度	勾配 : 20度 向き : 南東向き		

《 参 考 》

本市の大規模太陽光発電能力（市関連施設含む）

3380.28 Kw

(1) 各発電能力等

ア 豊岡エコバレー・山宮地場ソーラー（日高町山宮字獅子山 1516 番地）

種別	能力 (Kw)	稼動開始
第 1 期	681.03 Kw	平成 24 年 12 月 16 日
第 1 期 (一部増設)	91.77 Kw	平成 25 年 8 月 23 日
第 2 期	227.01 Kw	平成 25 年 10 月 17 日
計	999.81 Kw	

イ コウノトリ但馬空港地場ソーラー（上佐野 821 番地の 1）

種別	能力 (Kw)	稼動開始
—	677.58 Kw	平成 26 年 3 月 28 日

ウ 豊岡エコバレー・竹貫地場ソーラー

種別	能力 (Kw)	稼動開始
第 1 期	823.2 Kw	平成 27 年 11 月 26 日
第 2 期	299.88 Kw	平成 28 年 3 月 中旬
計	1123.08 Kw	

エ 民間企業ソーラー（日高町堀字中野 852 番地の 1 【市有地】）

種別	能力 (Kw)	稼動開始
—	579.81 Kw	平成 26 年 1 月 22 日

合 計（市関連施設含む）

種別	能力 (Kw)	稼動開始
—	3380.28 Kw	—

2 竣工式

(1) 日時

3月30日（水）午前10時30分～

(2) 場所

豊岡エコバレー・竹貫地場ソーラー敷地内

〔日高町竹貫字長谷田 501 番地（竹貫地区旧分譲宅地）〕

### (3) 内容

- ア 事業経過報告
- イ 施設管理引継式  
カネカソーラーテック(株)代表取締役社長 清水 良<sup>りょう</sup> 氏  
豊岡市長 中貝宗治
- ウ 地元区民への記念品贈呈  
贈呈者 (株)カネカ取締役副社長 永野広作 氏  
受領者 竹貫区民
- エ セレモニー「テープカット」
- オ 施設見学 など

### (4) 出席者（予定）

- ア 市議会（議長、副議長、建設経済委員会委員長、副委員長）
- イ 市（市長、真野副市長）
- ウ 地元・業者関係者 約 50 人

### (5) 主催

豊岡市

### (6) 会場案内図



〔問合せ〕 豊岡市環境経済部エコバレー推進課 TEL0796-23-4480